

# NEWS RELEASE



平成 22 年 2 月 1 日 14 時 資料配布

配布先
神戸海運記者クラブ

この件に関するお問い合わせ先
神戸運輸監理部総務企画部企画課（企画観光室） （担当）塚本（室長） 今村（副室長） 西尾（企画担当係長） （電話）078-321-3144

## 「たこフェリーを応援したい！」流通科学大学生が利用促進策を発表

～神戸運輸監理部、人材育成（地域活性）として支援～

流通科学大学でマーケティングを学ぶ学生が、高速道路料金の引下げで苦境に立たされている明石淡路フェリー（愛称：たこフェリー）を応援しようと、学生の視点で考えた利用促進策の発表会を、2月3日（水）関係者を集めて開催します。発表会は、一般の方も参加できます。

発表会名：流通科学大学生による『たこフェリー利用促進策』発表会  
日 時：平成22年2月3日（水）15：00～16：20  
場 所：神戸市中央波止場町1番1号  
神戸第2地方合同庁舎 6階 神戸運輸監理部 調停室  
発 表 者：流通科学大学 商学部特別セミナー2回生 有志  
発表内容：認知度アップ策、リピーター獲得策

### 参加を希望する方へ（報道関係者含む）

当日取材も含めて参加を希望する方は、会場設営の関係上恐れ入りますが、2月2日（火）12時までに総務企画部企画課（078-321-3144 今村・西尾）までご連絡下さい。

神戸運輸監理部では、明石海峡航路の維持活性化を図るべく、観光による交流人口を増やすためにフェリーならではの魅力を探る調査検討委員会を立ち上げ、9月に利用促進方策を取りまとめました。

その後、取りまとめの座長を務めた同大学の森 隆行 商学部教授が担当する講義において、海上公共交通の現状や国の政策、地域の現状などを学生に紹介したところ、学生から「地元の交通機関である、たこフェリーをもっと知りたい」との要望を受け、体験乗船を行いました。

その結果、**『たこフェリーを応援したい！』『地域に貢献したい！』という熱意ある学生が具体的な検討を始めたことから、当運輸監理部は一昨年同大学と締結した観光人材育成に関する連携協定に基づく取り組みとして、支援してきました。**

このプロジェクトは商学部特別セミナー2回生の有志で留学生を含め9人でスタート。12月中旬から現地調査やヒアリングを実施し、座学で学んだ分析手法を取り入れながら、「紙媒体とWebとの融合による効果的なPR手法」や「フェリーをデートスポット化するサービス開発」などの、学生らしい提案を行うべく検討を重ねてきたものです。

今後も当運輸監理部は大学と連携して、地域社会に貢献できるような人材を育成する場を設けていきたいと考えています。

なお、昨年実施した当運輸監理部・同志社大学協働プロジェクトでは、京都の学生の視点で発表された、みなと神戸の外国人観光客数アップ策の一部が実現しています。